

病院長挨拶



市民の皆様とともに大きく育てる

この度、神鳥谷に移転した新小山市市民病院は、周囲の環境や建物の様子が今までと一変し、お陰様で皆様から大変ご好評をいただいています。私たちは、皆様のご期待に応えるべく、診療のさらなる充実、最高の患者サービス、チーム医療の強化を目指します。里親によって植樹された病院前の28本の思川桜と同様、市民の皆様とともに、これから本院を大きく育てていきたいと思えます。

新病院では、外来や病棟、手術室や検査室、さらには駐車場などのハードや施設面をより充実させました。新小山市市民病院は、一足先に地方独立行政法人に経営形態を変え、新病院が開院するまでの間も旧病院のもとで様々な改革を行ってきました。

今年からは、いよいよエンジン全開で新しい病院にふさわしい内容に仕上げていかなくはなりません。脳卒中や心筋梗塞などの救急救命やがんの手術・化学療法、さらには入院を必要とする各種救急疾患の受け入れ、地域の「かかりつけ医」からの患者さんのご紹介に対する診断や治療への対応など、地域中核病院としての本院の役割を果たしていきたいと思えます。そのためには、医師・看護師などの医療スタッフがまだまだ不足しており、大学病院や地域の他医療機関などとの連携を強化しつつ、体制を整備していきます。市民、患者の皆様におかれましては、「地域における本院の使命」になお一層のご理解をいただきまして、私たちへのご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。

平成28年3月

新小山市市民病院 理事長・病院長 島田和幸



ボランティア活動を希望される方を募集しています。無理のない範囲での活動で構いません。始めてみませんか？

ボランティアをしてみて良かったこと

- 患者さんに『ありがとう』と言ってもらえた時、自分がしたことが役に立ったと確信できた“瞬間”がなにより嬉しい
- ご飯に行ったりする一生涯の友人を作れた
- 一期一会
- 同じような考えを持った仲間巡り合えた
- どんな症状だから何科にかかったらよいのかなど、ちょっとした知識を学べた

ボランティアをしようと思ったきっかけ

- 自分の生きがいにしてみたい
- 病気でお世話になったので、少しでも恩返しをしたい
- 父の介護の経験を活かせればと思った
- シルバー大でボランティアについて学び、私も社会貢献してみたいと思った
- 看護師を目指し夏休みの間だけですが、人との接し方を勉強したいと思った。職場の雰囲気味わい、知識を身につけたい。
- 社会に出る前に、社会勉強をしたいと思った



「健診センター」から「予防医学センター」に名称が変わりました

予防医学センター 所長 中野 真宏

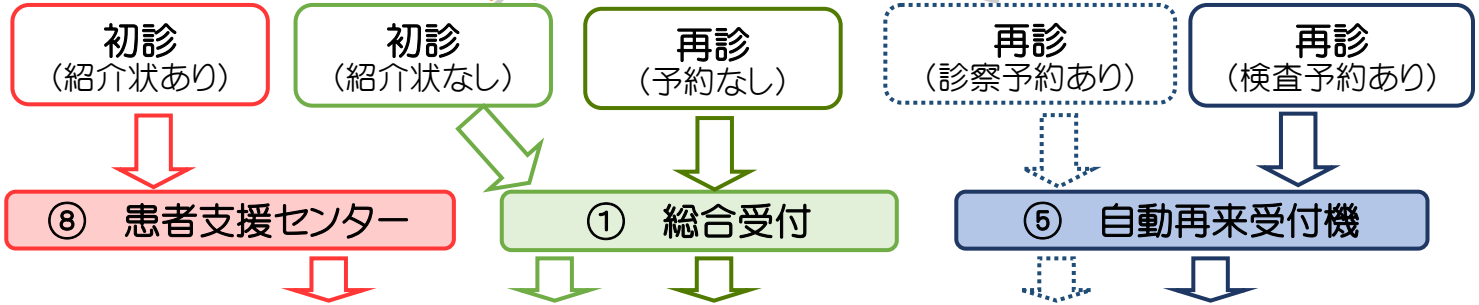
健康寿命とは、「寝たきりにならず自立した生活が送れ、“健康”と実感し生きる期間」をいいます。健康長寿を目標とする人間ドックは、精度の高い多項目の検査を受けて現在の健康状態を知る良い機会です。

予防医学センターでは、予防医学と抗加齢医学の観点から生活習慣病や加齢に伴う疾患やがんの早期発見に力を入れていきます。血管のアンチエイジングをコンセプトに、内臓脂肪過多による生活習慣病や動脈硬化の発見血管の硬さや詰まりをみる血圧脈波検査を標準検査に導入しています。また、脳血管病リスク検査や心疾患リスク検査の他、胃がんリスク検査、各臓器別がんの早期発見のための腫瘍マーカーのセットなどの新たなオプション検査を揃えました。人間ドック・脳ドック・心臓ドック受診結果から、当院の高度な検査や治療への移行も可能です。毎年4月には昼食をリニューアルし、28年度は、女性専用検査日を設け、女性のかかりやすい検査項目を充実させた「レディースドック」の開始を予定しております。受診当日は、医師の結果説明のほか、人間ドックアドバイザー・保健師・管理栄養士の健康相談や指導が受けられます。





外来診療について



番号が記載された **受付票** を受け取る

⑮ 検査受付

⑱ 放射線受付

⑨～⑬の **外来受付** に受付票を提出

診察室のご案内をしますので、診察室付近のイスにかけてお待ちください
※診察室では、紹介状をお持ちになった患者さんを優先的に呼びます

順番が来ましたら、掲示板に受付番号を表示します
診察

診察終了
会計用ファイルを受け取る

② **計算** に会計用ファイルを提出
会計番号が記載された**会計受付票**を受け取る

会計の計算が出来ましたら
③ **支払** のモニターに会計番号が表示されます

③ **支払い窓口** にて会計

④ **自動会計機** にて会計

